



令和3年 11月 1日

各報道機関 御中

宮崎大学企画総務部
総務広報課長

宮崎伝統野菜の次世代への継承

～未就学児を対象とした食育活動『佐土原ナスの収穫祭』開催について～

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より本学の教育・研究・社会貢献活動についてご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、地域資源創成学部食品科学研究室の活動の一環として、佐土原ナスを使った食育活動を社会福祉法人木花こども園で開催することになりましたのでお知らせいたします。

当該研究室では、日頃より地域固有の作物である宮崎伝統野菜の次世代への継承に関する教育研究に取り組んでいます。伝統野菜とは、地域の気候風土に適応した野菜として古くから栽培されてきた地域野菜のことで、宮崎県にも佐土原ナスや糸巻き大根等、宮崎固有の伝統野菜があります。しかしながら、近代農業の発展の影響を受け、不安定な形状、食べ方の情報不足、生産者の担い手不足、消費の低下等で、地域から消えていく伝統作物も少なくありません。地域の宝である宮崎伝統野菜を持続可能な形で次世代へと継承するためには、伝統野菜の認知度向上は不可欠です。

本研究では、宮崎の伝統野菜の認知度向上を目指し、宮崎伝統野菜の1つである佐土原ナスに着目して食育活動を行っています。佐土原ナスは嗜好性だけでなく、文化的にも価値の高い野菜です。私たちは、子ども達に、佐土原ナスを育て食べるという過程を通して「食材のありがたさ」「食べる喜び」を楽しみながら知ってもらうとともに、伝統野菜に興味関心を持ってもらう機会とすることを目的として活動を行っています。この度、当該研究室学生が、佐土原ナスを子供たちと一緒に収穫・調理を実施致します。

当日は、新型コロナウイルス感染予防を徹底した上で、園児、大学生が佐土原ナスの収穫・調理を行います。はじめに、7月に定植した佐土原ナスを収穫し、その後に当該研究室学生が考案したレシピである佐土原ナスのおにぎりの調理と実食を行う予定です。自分たちの手で収穫や調理を行うことで、食べ物が出来るまでの大変さを理解したり、以前よりもナスを好きになったりと、今回の収穫祭が子ども達にとって新たな食の学びの機会になることを目指しています。7月から行ってきた佐土原ナスを用いた食育活動が、生涯を通じて、食べる力を養う素地を醸成し、宮崎伝統野菜を知り次世代への継承を担う子ども達を育成する一助となればと考えております。

つきましては、当日の収穫・調理の様子を取材していただき、記事として取り上げていただけたら幸いに存じます。何かとご多忙中かとは存じますが、宜しくお願い致します。

敬具

記

- 開催日時 令和3年 11月 5日(金) 13:00 ~ 15:00
- 場 所 社会福祉法人木花福祉会 木花こども園
〒889-2151 宮崎県宮崎市大字熊野字西ノ原 6777 番地 3
- 主 催 宮崎大学地域資源創成学部 食品科学研究室
- 対 象 こども園児(年中児 43名)
- 備 考 ※当日は、新型コロナウイルス感染予防のため、マスクをご着用下さい。
※発熱等の症状が見られる場合は、取材をご遠慮下さいますようお願い申し上げます。
※雨天の場合も、室内にて定植活動指導を行います。

① 問い合わせ先

宮崎第大学地域資源創成学部(山崎有美)
E-mail: yamasakiy@cc.miyazaki-u.ac.jp
TEL: 0985-58-7468
不在時・当日連絡先: 080-4272-8693(山崎)

② 発信元

宮崎大学企画総務部総務広報課
TEL: 0985-58-7114 FAX: 0985-58-2818

【会場: 木花こども園】

〒889-2151

宮崎県宮崎市大字熊野字西ノ原 6777 番地 3

※Google MAP で検索した場合、旧園舎の場所がスポットされますのでご注意ください。

